

職場における交通安全指導 Part.2

交差点の安全な通過方法～左折時の安全走行～

巻き込みに注意

左折のときに気をつけなければならないのは、並進または左後方から交差点を直進しようとする二輪車、自転車との衝突事故です。

トラックからは左後方の二輪車などが非常に見えにくく、特に大型車の場合、車高や視野の関係から二輪車などを巻き込む事故が多発しています。(図1)

このような左折事故を防ぐために、次のポイントについて指導してください。

合図(ウインカー)は早めに、確実に出す

ミラーでの左後方の確認は、一度だけでなく、二度、三度行う

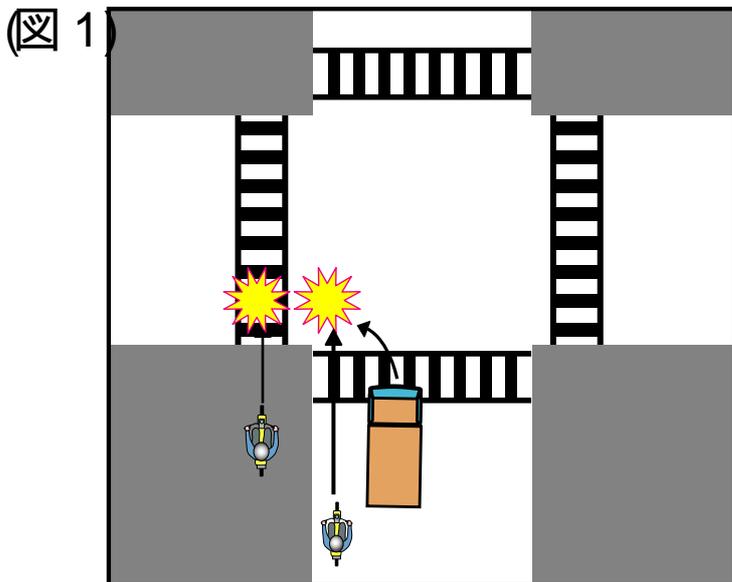
直進する二輪車等がいる場合には、そのスピードを過小評価せずに先に行かせる

発進時の注意

赤信号で停止し、青信号に変わってから左折する時に注意しなければならないことが二点あります。

まず、停止中に左側方の安全を確認して「だいじょうぶ」と思い、青信号で一気に左折したところ、停止中に真横に並んだ二輪車がいって接触事故を起こすこと。次に、二輪車に気をとられすぎ、横断をはじめた歩行者に気付かず接触事故を起こすこと。

このような事故を防ぐためにも、安全確認は発進直前にも行い、歩行者の存在も忘れずに、十分なチェックを行うよう指導してください。



交通量が多い交差点を左折する際、左後方を走っていた二輪車に気付かず、スピードを落とさずに進行したために、二輪車と衝突する。

左折事故を防ぐ大きなポイント

**一気に左折せず、
一呼吸遅らせてゆっくり左折する**